

# インターンシップ入門 実習報告

受入先：株式会社ユイ・システム工房様

地域資源マネジメント学科

文化資源マネジメントコース 2回生

川内日菜乃 野本朱里 原 和輝 山下洵子

# 目次

1. インターンシップ先の紹介
2. インターンシップ先を選んだ理由・目標
3. インターンシップの活動内容
  - └ インタビュー
  - └ ジョブシャドウイング
4. まとめ・学び得たこと

# 1. インターンシップ先の紹介

## —ユイ・システム工房—

企業が使用する業務システム開発、WEBアプリケーション開発、スマートフォンアプリ開発、WEBサイト制作を行っている。

デザイナーとエンジニアが日々コミュニケーションを取りながら業務を行っていることが強みで、「機能性だけでなくデザイン性も追求したWEBアプリケーション」を提供している点が特徴である。

## —販売商品—

- 「愛媛新聞ONLINE」
- 「南海放送アプリ」
- 「社会共創学部学修ポートフォリオシステム」 など

## 2. インターンシップ先に選んだ理由・目標

- ・変化し続ける社会に対応し、開発していくにはどのような工夫を行なっているのか知りたい

- ・見やすい資料作りのポイントを知り、成果発表などに生かしたい



主にデザインについて、基本的な色使いや配置などの工夫を学びたい

- ・地域活性化の際に度々重要なことの一つとされる「情報発信」についてwebサイト作成及びそのデザインの仕方について興味を持った

- ・普段使うアプリがどのように作られているか疑問に思った。



効果的なデザインの仕方について学ぶ。アプリ制作の現場を知る

- ・ゼミでのHP制作を通してWebデザインに興味を持った

- ・計画的にチームで協力し仕事を進める難しさを知った



納期を乗り切る工夫やスケジュール管理方法など円滑に仕事をするための秘訣を知る

- ・一年生の時の「山旅」というプロジェクトを通じて、HP制作に関わり、“情報を伝えるための伝える”デザインに興味を持った

- ・チームの導き方に苦戦した



デザインをする際に気を付けていること、**チーム管理、人選のポイント**を知る

# 3. インターンシップでの活動内容

(台風の影響により、1日目のみ実施)

9:30 集合

10:00 オリエンテーション・担当者との顔合わせ

└企業の事業やサービスの紹介

└社内の各部署の説明および見学

12:00 昼食

13:00 事業統括者へのインタビュー

15:00 従業員インタビュー

16:00 各部署の見学

18:00 解散

# インタビュー 1

## 事業統括者の方へのインタビュー

- ・ デザイナーとエンジニアが協働しやすい環境づくりの工夫
- ・ 会社に必要な人材
- ・ 社員との関係をよくするために気を付けていること
- ・ 取引先と関係構築するために気を付けていること
- ・ よいチームをつくる鉄則
- ・ 地域貢献の姿勢
- ・ 迷った時や落ち込んだ時の対処方法                      など

インターンでの学び  
— 中谷社長の名言ベスト3 —

# 1. 世の中の“お困りごと”が、 世の中に必要なこと

—「就職したり、会社興したりするときに、“社会には何が必要なんか”って思うやろ。そんなときはな、世の中のお困りごとを見つけるんや、発明品もそうやろ“困ってることが発明に繋がるんや”」

2. くよくよ悩まず、  
明日のことを考えて生きる

3. 考え方はそれぞれ。  
心を大きにして受け入れる



# インタビュー 2

## 従業員の方へのインタビュー

- ・ 今までで一番やりがいを感じた仕事
- ・ 今までで一番苦勞した仕事
- ・ バックアップの方法
- ・ 納期の忙しさを乗り切るには
- ・ 社内で印象がいい人、とはどんな人か？
- ・ 社会人の必須の持ち物とは                      など

# ジョブシャドウイング

- デザイナーの職務について

某大手通販サイトのキャンペーン期間終了に関する作業を見学。

また、委託サイトの制作を見学し、Webデザインの仕方や、同時にそのスキルを身に付ける方法を学ぶ。

- エンジニアの職務について

南海放送アプリのアップデートの試行に関する作業を見学。

アップデートにおける基本的な流れや実際の作業、注意点を学ぶ。

## 4. まとめ・学び得たこと

事業統括者と従業員の方々の距離が近く、自分がやりたいことを主張できる、素晴らしい会社であると思いました。従業員の方がやりたいと行ったことを否定せず、応援する方針であるため、自らもっと頑張ろうと思えるような雰囲気作りができていると感じました。

また、IT企業と聞くと、理系というイメージを持っていましたが、実際に従業員の方にお話を聞くと、文系、再就職の方が多くいらっしゃいました。調べるだけではわからないようなことを見て学ぶ事ができ、とても有意義な時間でした。実際に私たちが就職活動をする際には、職種にとらわれず、自分がしたいことができる会社を選ぼうと思いました。(川内)

ITに携わる企業にインターンシップさせて頂くことによって、今まで知り得なかったシステム開発・webデザインについて学ぶことができました。同時に、インタビューやジョブシャドウイングを通じて、普段自分たちが何気なく利用している様々な機能やサービスは、その分野に携わる企業・社員の方々のご尽力によって成り立っているのだなと深く感じました。

自分たちが就職活動する際に、多種多様な企業が候補になると思います。その中で、会社で自分のどのような力が活かせるか、社会にとってどのような利益に貢献できるか考えて活動していきたいと感じました。その中で中谷社長がおっしゃられたように「結果として地域貢献」できれば幸いです。(原)

文系だから文系の仕事に就く、理系だから理系の仕事に就くという今までの固定観念が覆されました。社長をはじめとして、自分の専攻に囚われず職種を選んだ人が多く驚きました。「職人になりたくて、この業界を選んだ。やはり職人はかっこいい」との社長の言葉通り、ジョブシャドウイングで間近に見た自分の仕事に誇りを持ち働く姿は輝いていました。

はじめは専門知識が無いのは当たり前で、**たとえ自分の専攻と違っていても、誰もが新人から様々なことを学び、職人になっていくのだと痛感しました。**私も、どんな仕事に就いたとしてもプロフェッショナルとなれるよう精一杯頑張りたいです。(野本)

Web制作、アプリケーション開発の現場で実践的な学習をする機会が得られたことに期待もあった反面、理系が中心の職業で、事業内容について理解し、うまく質問できるのだろうかという不安もありました。しかし、最も興味があったWebデザインの部門では、法文学部卒業の先輩が活躍されており、社長の中谷さんも、**分野に問わず、会社では文系理系両者の能力が活かされる場面がある**と言われていたことから、情報関係の会社についても恐れず、就職の視野を広げたいと思いました。

中谷社長の「**ものさしが多いことは自分の強みになる**」という言葉と、そのために社長自身も国内外問わず、結局的に情報業界の先進地に行かれていたり、社員にもその機会を提供していることが印象的でした。(山下)